



伝承芸能大会プログラム

時程	内容	摘要	備考
13:00~13:30	受付		
13:30~13:50	開会行事	会長あいさつ、来賓祝辞	20分
1 14:00~14:15	演 目	なづみ ^{だいこ} 太鼓 なづみ ^{だいこ} 太鼓愛好会	15分
2 14:15~14:30		うらやす ^{まい} の舞 うらやす ^{まい} の舞保存会	15分
3 14:30~14:45		こども ^{じゃおど} 龍踊り もとむらじゃおど ^{ほぞん} かい 元村龍踊り保存会	15分
14:45~15:00		(休憩)	(15分)
4 15:00~15:15		わ ^{だい} 太 ^こ 鼓 ほんがわちこ ^{おだいこ} ほぞんかい 本川内琴ノ尾太鼓保存会	15分
5 15:15~15:30	おか ^ふ 岡 ^{りゅう} 浮 ^{りゅう} 立 ながよきた ^{おかふりゅうほぞん} かい 長与北(岡浮立保存会)	15分	
15:40~16:00	閉会行事	賞状授与、閉会あいさつ	20分

子どもの心にふるさとを

令和5年度 第43回

長崎県子ども会伝承芸能大会

○とき 令和6年2月4日(日)
開演 13時30分 (開場 13時)

○ところ 長与町民文化ホール
西彼杵郡長与町吉無田郷73-1
(TEL:095-883-8731)

開会行事

- 1 開会のことば
- 2 県子連会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
・長崎県教育委員会
・時津町教育長
・長与町教育長



(一財)長崎県子ども会育成連合会
友情・奉仕・鍛錬

閉会行事

- 1 賞状ならびに記念品贈呈
- 2 講評
- 3 開催地会長あいさつ

主催：(一財)長崎県子ども会育成連合会
時津町子ども育成会連絡協議会 長与町子ども会育成会連絡協議会
共催：時津町教育委員会 長与町教育委員会
後援：長崎県教育委員会 長崎県青少年育成県民会議 長崎新聞社 NHK長崎放送局
NBC長崎放送 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ
長崎ケーブルテレビ

入場無料

長崎県子ども会伝承芸能大会 演目紹介

長崎県子ども会伝承芸能大会は、1979年(昭和54年)に始まり、本年度で43回目を数える長崎県子ども会育成連合会の事業です。

開催にあたっては、時津町子ども育成会連絡協議会と長与町子ども育成会連絡協議会ならびに両町教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。

この大会は、発表をとおして子どもたちに伝承芸能を継承しようとする自覚と意欲を高め、子ども会活動の振興と発展に寄与するとともに、鑑賞いただく大勢の方々に伝承芸能継承への認識を新たにさせていただくというものです。

本年度の第43回大会は西彼杵郡での開催となり、西彼杵郡内から5団体が発表します。これまでの練習の成果をご鑑賞いただき、熱演された皆さんに、賞賛と励ましの大きな拍手をおくってくださいませようお願いいたします。

出演団体には、長崎県子ども会育成連合会より、賞状と記念品を贈ります。

1 なづみ太鼓

【なづみ太鼓愛好会】



代表者 中尾 利彦

なづみ太鼓愛好会は、昭和55年に町内の太鼓愛好者によって結成され、時津町にそびえる「鳴鼓岳」から名前をいただきました。

その後、平成3年に再結成し32年となりますが、太鼓を通じて、町民のふれあいと創造及び郷土愛を高め、さらに郷土芸能として親しまれ、後世に永く伝承することを目的として現在も活動しています。なお、平成3年の再結成の際には、長与町子ども育成会連絡協議会会長の松下一徳さんに太鼓の指導をしていただきました。

平成8年からは、後世への伝承のため、小中学生を対象とした「なづみ太鼓ジュニア」を育成し、ときつ夏まつりや成人式などの催しに出演しています。

2 浦安の舞

【浦安の舞保存会】



代表者 岳川 和雄

子々川地区では、毎年11月3日に地域の氏神様である熊野神社において「子々川くんち」を実施し、その中で「浦安の舞」を奉納しています。

始まりは、昭和13年頃とされており、途中戦争での中絶がありましたが、昭和53年に復活し、その後は毎年奉納しています。浦安の舞は、護国豊饒、家内安全が込められており、踊り手は子々川地区に住む小学6年生女子としています。しかし、近年は人数不足により、5年生を含めて奉納しています。

「浦安の舞」を通じ、子どもたちの郷土愛を深めるとともに、地区住民と触れ合う機会を絶やすことなく、伝統あふれる住みやすい町「時津」を誇りに思い、これからも「浦安の舞」を継続できるよう努力していきます。

3 子ども龍踊り

【元村龍踊り保存会】



代表者 高石 好博

元村子ども龍踊りは、地域の子ども達にも龍踊りを体験してもらい地域と子ども達との交流の機会を広げ子ども会の活性化に繋げることを目的に、平成23年から元村龍踊り保存会の子ども部として活動を続けています。

子ども達が持つ龍体(じゃたい)は保存会会員の手作りです。現在は2代目の白龍で、平成30年に保存会会員のみんなで約2か月かけて約2000枚のウロコを作り新調しました。

子ども龍踊りは小学生から中学生まで幅広く、低学年は楽器、高学年は踊り手として年齢・学年を超えて楽しく活動しています。毎年11月から練習をはじめ、地域の文化祭への出演や神社の秋祭りでの奉納踊りを行っています。

4 わ和太鼓

【本川内琴ノ尾太鼓保存会】



代表者 山口 憲一郎

本川内郷にはもともと浮立がありましたが、明治40年に長与村役場庁舎落成記念式典に出されたのを最後に途絶えています。その時の「大太鼓」と「もらし太鼓」は地区集会所で保存し、盆踊りなどで使用されてきました。

昭和62年に、この二つの太鼓を生かし、和太鼓による組太鼓を編成し郷土芸能として継承し、地区住民の親睦と地域発展を目的に「本川内琴ノ尾太鼓」が結成されました。青年、中高生、小若(小学生)で構成され、郷土芸能大会、公民館まつり等各種イベントに出演しています。

発足から数十年経ち、メンバーも変わっていますが、お兄さん、お姉さんたちの背中を見て一生懸命に稽古に励んでいます。

5 おか岡浮立

【長与北(岡浮立保存会)】



代表者 水谷 勉

今から約400年前に豊後と肥前の戦いがあり、肥前が敗戦になろうとした時、佐賀の鍋島平右衛門が一族に鬼の面をかぶらせ笛、鉦、太鼓に合わせて勇ましく踊り勝ち誇った。その踊りが元で今のような浮立踊りが伝わったといえます。

岡浮立は、約300年の歴史を持つ行列浮立で、伝承には岡郷民がこぞって参加し、俗に岡の千人浮立と言われてきました。昔は稲の虫追いや雨乞いなどに行われ、近年では祝賀行事に催されています。出し物は先頭から傘鉦・カラ・矢箱・ネツツミ・ササラ・笛・カケ踊り・太鼓・鉦と続きます。

今回は、笛、鉦、太鼓の協力を得て、カケ踊りを披露し、子どもが主体となって「たら」・「にわうち」・「おかざき」の以上3曲を披露します。